



環境省

環境省主催

令和5年度自然資源を活用した上質なツーリズムの実現に向けた

人材育成支援事業

インバウンド研修 参加のご案内

研修期間:2024年2月12日(月)~2月27日(火)

このたびはインバウンド研修にご参加いただき、誠にありがとうございます。自習期間（講義動画（YouTube））の視聴と、オンライン集合日及び個別カウンセリングの参加方法についてご案内いたします。チーム間で共有し、お目通しくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 参加にあたってのお願い | 2 |
| 2. インバウンド研修の獲得目標と対応する科目 | 3 |
| 3. 研修の全体スケジュール | 4 |
| 4. 自習期間（1）2月12日（月）～2月14日（水） | 4 |
| 5. オンライン集合日（1）2月15日（木） | 6 |
| 6. 自習期間（2）2月16日（金）～2月26日（月） | 8 |
| 7. オンライン集合日（2）2月27日（火） | 10 |
| 8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について | 12 |
| 9. 講師プロフィール | 13 |
| 10. 参加者自己紹介シート | 14 |

1. 参加にあたってのお願い

1) 通信環境の設定

YouTube の視聴と Zoom を利用できる機器（パソコン、タブレットなど）をご用意ください。オンライン集合日は、有線 LAN や WiFi など十分な通信速度が保てる環境でご参加ください。また、機器にはカメラ・マイクを接続して、または内蔵しているものをご用意ください。

※チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1 台の機器で参加してください。難しい場合は、事前に事務局へご連絡ください。

※研修で使用する端末（PC 等）に、Zoom のソフトウェア（ミーティング用 Zoom クライアント）を事前に（最新バージョン：1.7.3.1952（0115）以上）インストールしていただく必要がございます。事前に、当日利用する端末から、Zoom の URL にアクセスいただき、案内に従ってインストールお済ませ下さい。（最大で 15 分ほど要します）

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

2) 事前課題の提出

提出期限（「訪日外国人観光客に紹介したいと思う地域の資源、または訪日外国人観光客に興味を持ってもらえると思う地域の資源」）は 2024 年 2 月 14 日（水）正午です。事前課題は、2 月 15 日（木）に開催するオンライン集合日（1）「地域の自己紹介・資源紹介」で発表していただきます。発表時間は、地域の自己紹介を含め 10 分／地域です。発表する課題は 3 つでも、1 つを集中して取り上げても結構です。

3) 参加地域一覧とチーム名（Zoom で表記）

| | 参加地域(集合研修の参加年度、A/B コース) | Zoom で表記する チーム名 |
|---|--|--------------------|
| 1 | 岐阜県高山市国府町（2022 年度、B コース） | たかやま |
| 2 | 滋賀県長浜市（2022 年度、B コース） | ながはま |
| 3 | 霧島ジオパーク、霧島錦江湾国立公園（宮崎県、鹿児島県）（2022 年度、B コース） | きりしま |
| 4 | 北海道・大沼国定公園（七飯大沼国際観光コンベンション協会）（2020 年度、A コース） | ななえ |

Zoom に入室の際は、表示名を【Zoom で表記するチーム名】に変更してください。

2. インバウンド研修の獲得目標と対応する科目

本研修の獲得目標

「地域で訪日外国人観光客を受け入れるための知識を得て 準備と取り組みを始められるようになる」

上記の目標のため、この研修では以下を行います（カッコ内は対応する科目）

1 **知識** 訪日外国人観光客に関する基礎的な知識を得る

| 項目 | 対応する講義 |
|--|--|
| 訪日外国人観光客の現状について理解する | 導入 ガイド現場の実際（古屋） 講義1 訪日旅行の現状と誘致の取り組みについて（JNTO） |
| 海外から見た日本の自然の特徴と価値を学ぶ | 講義2 日本の価値を学ぶ-1（松田） 講義3 日本の価値を学ぶ-2（横山） |
| 訪日外国人観光客の価値観について理解する （サステナビリティの視点、エシカルの視点等） | 全講義 |

2 **準備** 訪日外国人観光客の受け入れの実情について事例を通じて理解する

| 項目 | 対応する講義 |
|--|--|
| ガイドのスキルアップと地域人材の育成について理解する | 講義4（ライブ） 自己研鑽を含めたスキルアップと地域における人材育成・確保の道筋（古屋） |
| 「来訪者の満足度向上と高付加価値化」を地域連携を軸に実現している事例について理解する | 講義5（ライブ） ストーリーと地域連携を軸とした高付加価値化（仮題）（金子、新谷） |

3 **取組** 訪日外国人観光客の受入れに向けた取組を理解する

| 項目 | 対応する講義 |
|---|--|
| 地域のマーケティング、プロモーションの手法を知る | 講義6（ライブ）：インバウンド向けツアー事業の実態とプロモーションの連携（府川） |
| 訪日外国人観光客目線を理解したプログラム作りを行う（事前課題、各自で実習、個別カウンセリング） | 講義7（ライブ） 地域の素材を旅行商品に仕立てるためのヒント（野口） 講義8 地域での販売促進（野口） 講義9 ツアープログラム作りのスキーム（古屋） 講義10 ツアーでの様々な工夫（古屋） |
| 訪日外国人観光客向けツアーに特有のリスクマネジメントの観点を学ぶ | 講義11 リスクマネジメント（古屋） |

3. 研修の全体スケジュール

| 日程 | 内容 |
|-------------------|--|
| 2月12日（月）～2月14日（水） | 自習期間（1）「動画教材（YouTube）」を任意の時間に視聴 ※全6本 全体で約2時間半程度 |
| 2月15日（木） | オンライン集合日（1）終日 ※必ず出席 |
| 2月16日（金）～2月26日（月） | 自習期間（2）「動画教材（YouTube）」を任意の時間に視聴 ※全4本 全体で2時間程度 ※うち、2月19日（月）～2月22日（木）に個別カウンセリング実施（45分程度） ※チームで課題に取り組む期間 |
| 2月27日（火） | オンライン集合日（2）終日 ※必ず出席 |

4. 自習期間（1）2月12日（月）～14日（水）

自習期間（1）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。期間中に下記の動画を順番にご覧ください。

1) 令和5年度環境省インバウンド研修講義動画（1）プレイリスト

2) 講義動画についてのご質問、ご不明な点がございましたら、2月14日（水）までに、「質問フォーム」からご質問をお寄せください。

質問フォーム

3) 各講義の PDF 資料は下記からダウンロードいただけます。講義視聴時の参考として印刷等していただき適宜ご参照ください。なお、資料は配付用のため、講義のスライドと一部内容が異なる場合がございます。

自習期間（1）講義動画一覧

| 所要時間 | 講義名 | 内容 | 担当講師 |
|--------|--|--|-------------------|
| 約 11 分 | 研修のねらいと概要 | 環境省が後押しする上質なツーリズムとは何か、この研修の目標とそれを達成するために組まれたカリキュラムの全体像についてご説明します。 | 主催者 (環境省) |
| 約 27 分 | 講師の自己紹介・メッセージ | 各講師に3～5分程度で、自己紹介(活動エリア・フィールド・事業、取り組みの紹介、参加者へのメッセージ) | 各講師 |
| 約 50 分 | 導入：ガイド現場の実際 | 訪日外国人観光客の旅のスタイルを知り、実際のガイドの様子を見る。訪日外国人観光客向けツアーに求められる基本的なスキル、姿勢等を学ぶ。 | 古屋 絢子 |
| 約 34 分 | 講義 1：訪日旅行の現状と誘致の取り組みについて | 国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャンペーン、自然コンテンツの扱い）等 | 日本政府観光局 (JNTO) |
| 約 31 分 | 講義 2：日本の価値を学ぶ-1 | 世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説/知床でのガイド事例の紹介 | 松田 光輝 |
| 約 35 分 | 講義 3：日本の価値を学ぶ-2 (エコツアーの中での海外ビジターの関心事と、日本の自然の特徴) | 海外から見て特徴的な日本の自然（動植物等）について知る | 横山 隆一 |

5. オンライン集合日（1）2月15日（木）

9:30 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください。
（会議会場には開始 15 分前の 9:15 からご入場可能です。）

会場 URL :

トピック: オンライン集合日（1）

<https://us02web.zoom.us/>

ミーティング ID:

地域の自己紹介・資源紹介（発表）について

各地域から、事前課題を発表します。

参加地域のダウンロード先は、こちらです。

オンライン集合日 (1) 2月15日 (木)

チームごとに「事前課題」のプレゼンテーションをしていただきます。

各チームのメンバーは、原則一か所に集合し、1台の機器で参加してください。

| 時刻 | 所要時間 | 科目 | 内容 | 担当 |
|-------|------|--|--|---|
| 9:15 | 0:15 | 受付 | | |
| 9:30 | 0:25 | オリエンテーション | 主催者、講師挨拶 研修会全体と実施方法の確認 | 環境省 金子 森 新谷 雅徳 野口 貴裕 府川 尚弘 古屋 絢子 事務局 (進行) |
| 9:55 | 0:50 | 地域の自己紹介・資源紹介 (発表) | 各チームの持ち時間：約10分 地域の簡単な紹介 事前課題の紹介 (資源名・資源概要・外国の方に紹介したい・興味を持ってもらえると思った理由等) | 事務局 (進行) |
| 10:45 | 0:05 | 休憩 | | |
| 10:50 | 0:30 | 講義4：自己研鑽を含めたスキルアップと地域における人材育成・確保の道筋 | 訪日外国人観光客を対象としたガイドとして活動する通訳案内士の視点から、自己研鑽を含めたスキルアップと地域における人材育成・確保の道筋についてのヒントを示す | 古屋 絢子 |
| 11:20 | 0:05 | 休憩 | | |
| 11:25 | 2:00 | 講義5：ストーリーと地域連携を軸とした高付加価値化 11:25～11:55 金子 【昼休み 11:55～12:55】 12:55～13:25 新谷 | (金子) 箱根で地域の自然・歴史・文化を紡ぐストーリーと地域との連携を軸に高付加価値なツアーを提供するに至った経緯、大事にしたこと等について (新谷) 富士宮市におけるストーリーと地域連携を軸に高付加価値な先駆的エコツアーを提供するに至った経緯、事業経営 (運営) 上の留意点、人材確保について | 金子 森 新谷 雅徳 |
| 13:25 | 0:30 | 講義6：インバウンド向けツアー事業の実態とプロモーションの連携 | (府川) 海外に向けたプロモーションの連携事例について知る | 府川 尚弘 |
| 13:55 | 0:05 | 休憩 | | |
| 14:00 | 0:30 | 講義7：地域の素材を旅行商品に仕立てるためのヒント | 地域資源 (素材) の評価から資源として活用し、プログラムに組み込んで商品として提供するまでの一連のプロセスについて学ぶ。 | 野口 貴裕 |
| 14:30 | 0:05 | 休憩 | | |
| 14:35 | 0:05 | 課題の確認 | ツアープログラム作成の観点、注意点等 | 事務局 |
| 14:40 | 0:40 | 全体での意見交換・質疑 | 講義やプログラム作り、その他に関する全体での意見交換 | 事務局 (進行) |
| 15:20 | 0:05 | 事務連絡 | 個別カウンセリングについて 等 | 事務局 |

| | | | | |
|-------|--|----|--|--|
| 15:25 | | 終了 | | |
|-------|--|----|--|--|

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

6. 自習期間（2）2月16日（金）～2月26日（月）

1）自習期間（2）の講義動画は、下記のプレイリストからご覧いただけます。

令和5年度環境省インバウンド研修講義動画（2）プレイリスト

2）講義動画についてのご質問、ご不明な点がございましたら、2月26日（月）までに「質問フォーム」からご質問をお寄せください。インバウンド研修終了後に回答いたします。

質問フォーム

自習期間（2）講義動画一覧

| 所要時間 | 講義 | 内容 | 講師 |
|------|---------------------|--|-------|
| 約40分 | 講義8：地域での販売促進 | ランドオペレーター（海外の旅行会社と取引を行い、国内の手配を行う）の視点から、地域でできるターゲットの設定や販売促進、商品に求められる要素について紹介する。 | 野口 貴裕 |
| 約35分 | 講義9：ツアープログラム作りのスキーム | 商品づくりの手順と15のチェックポイントを解説する。 | 古屋 絢子 |
| 約23分 | 講義10：ツアーでの様々な工夫 | 訪日外国人観光客向けツアー参加者の満足度を上げるためのヒントを紹介します。 | 古屋 絢子 |
| 約30分 | 講義11：リスクマネジメント | 訪日外国人観光客向けツアーで発生するトラブルの実例をもとに、その原因と、対応策を解説します。リスクマネジメントの視点から、ガイド・企画者が備えておくべきことにも触れる。 | 古屋 絢子 |

3) 自習期間(2)では各チームでプログラムの作成を行っていただきます。適宜、下記の個別カウンセリングを受けてください。

個別カウンセリング期間(2月19日(月)~2月22日(木)について)

2月27日(火)オンライン集合日(2)は、参加地域(チーム)で作成した「訪日外国人観光客向けの、自然体験や歴史・文化・地域の暮らしをコンテンツにした旅行商品」を発表します。それに向けて、講師(金子講師、新谷講師、野口講師、府川講師、古屋講師、川嶋講師)と参加地域との個別カウンセリング(オンライン)の機会を設けます。

※個別カウンセリングは、講師に個別相談ができる機会です。

※個別カウンセリングは、1回45分です。事前に参加地域(チーム)から希望日程、講師を伺い、事務局が調整に当たります。

※1地域当たり、講師1~2名程度を想定しています。

オンライン集合日1日目が終了後に、カウンセリングを希望する講師名と、チームでご都合の良い日時を、「カウンセリング申し込みフォーム」を参考に、メールにて事務局までお知らせください。複数の講師を希望する際は希望順にお知らせください(ご希望に添えない場合もあります)

※切は2月16日(金)正午です。

なお、開催時間の調整は事務局を中心に進めさせていただきます。

各チーム、各講師1回までです。1セッションの時間は45分です。

ZoomのURLは調整の上、事務局からご連絡いたします。

カウンセリング申し込みフォーム

チーム名：

希望する講師：○○ ○○(第1希望)

○○ ○○(第2希望)

○○ ○○(第3希望)

希望する日時：(※候補日時はできるだけ多く、幅広にお願いします)

7. オンライン集合日（2）2月27日（火）の参加について

10:00 から開始いたします。当日は、下記の URL からアクセスください（会議会場には開始 15 分前の 9:45 からご入場可能です）。

円滑な講習運営のため、チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1 台の機器からご参加ください。

会場 URL :

トピック: オンライン集合日（2）

<https://us02web.zoom.us/>

ミーティング ID:

オンライン集合日（2）

| 時刻 | 所要時間 | 科目 | 内容 | 担当 |
|-------|------|----------------------|--|---|
| 9:45 | 0:15 | 受付開始 | | 事務局 |
| 10:00 | 0:15 | 開会 本日の流れの確認 | | 事務局 |
| 10:15 | 1:40 | 旅行商品の発表 (前半) | 各チーム 20分+フィードバック 10分 相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 順番 1. たかやま 2. ながはま 3. きりしま | 事務局（進行） 金子 森 新谷 雅徳 野口 貴裕 府川 尚弘 古屋 絢子 川嶋 直 |
| 11:55 | 1:00 | 昼休憩 | | |
| 12:55 | 0:40 | 旅行商品の発表 (後半) | 各チーム 20分+フィードバック 10分 相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 4. ななえ | 事務局（進行） 金子 森 新谷 雅徳 野口 貴裕 府川 尚弘 古屋 絢子 川嶋 直 |
| 13:35 | 0:10 | 休憩 | | |
| 13:45 | 0:20 | フィードバックを読み&チーム内で意見交換 | | 事務局（進行） |
| 14:05 | 0:35 | 各講師から講評 | 発表を受けて、各講師から参加地域（チーム）に向けてアドバイス | 事務局（進行） 金子 森 新谷 雅徳 野口 貴裕 府川 尚弘 古屋 絢子 川嶋 直 |
| 14:40 | 0:10 | アンケートの記入 | | |
| 14:50 | 0:10 | 閉講式&事務連絡 | | 事務局 |
| 15:00 | | 終了 | | |

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

8. 感想やフィードバック、アンケートの記入について

- 1) 「実習3：作成したプログラム発表」では、他のチームの発表に対するフィードバックを全員で行います。フィードバックや感想は、各自のパソコン・スマートフォンなどから、下記のフォームにご記入し、送信してください。

プログラム発表へのフィードバック

- 2) インバウンド研修が終了後、下記からアンケートのご記入をお願いいたします。なお、オンラインでの回答が難しい場合は、事務局までお知らせ下さい。

アンケート

当日の連絡先

公益社団法人日本環境教育フォーラム 担当：小堀

〈電話〉 03-5834- 〈メール〉 kobori@jeef

つながらない場合はこちら→携帯 090-7520-5982（小堀携帯）

一般社団法人日本エコツーリズム協会 担当：坪根

〈電話〉 090-4956-（JES事務局携帯） 〈メール〉 [tsubone@ecotourism.](mailto:tsubone@ecotourism)

※事務局からのご連絡は原則チームの代表者の方にお送りします。各メンバーへのご連絡はチームの代表者からお願いいたします。

9. 講師プロフィール

参加者自己紹介シート

※シートが足りない場合は、適宜増やしてください。

※参加者①は、チームの代表者をお書きください。

チーム名【 】

| | |
|--|-------------|
| <p>参加者① お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p> | <p>お顔写真</p> |
| <p>参加者② お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p> | <p>お顔写真</p> |
| <p>参加者③ お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p> | <p>お顔写真</p> |
| <p>参加者④ お名前（読み仮名）： _____ 連絡のつきやすい問合せ先（参加者同士で共有されます・必須ではありません） 住所： 干 _____ 電話番号： _____ メールアドレス： _____ 自己紹介文</p> | <p>お顔写真</p> |